

ホオズキ実生苗における地下茎の生育に適した定植時期

ホオズキの実生苗において、優良な地下茎量が多く、地下茎定植後の初期生育が優れる定植時期は9月24日です。

背景・目的

- ホオズキ栽培においては、実生由来の地下茎を利用した栽培が一般的になってはいますが、安定して地下茎を確保できていない事例があります。
- そこで、実生苗の定植時期の違いによって確保できる地下茎量や、営利栽培に適した地下茎形成について調査しました。

成果の内容

- 主軸地下茎の本数は、8月25日定植と9月24日定植で差がなく、分枝の本数、長さおよび節数は8月25日定植で多くなります。10月22日定植では主軸地下茎の本数は少なく、11月24日定植では、地下茎は伸長しません（データ略）。
- 節を含む5cmに調整した地下茎本数は、8月25日定植と9月24日定植で差がなく、中間節と先端節を合わせた4.0mm以上の地下茎は、9月24日定植がやや多くなります（表1）。
- 地下茎の定植後の初期生育は、8月25日定植由来の地下茎より9月24日定植由来の地下茎が優れます（表2）。

表1 地下茎調整後の太さ別本数（本/株）

試験区	中間節本数 ^z			先端節本数 ^y			合計本数
	3.5mm未満 ^x	3.5mm以上 4.0mm未満	4.0mm以上	3.5mm未満	3.5mm以上 4.0mm未満	4.0mm以上	
①8月25日定植区	11.8 ± 1.2*	11.2 ± 0.8	33.9 ± 5.8	7.9 ± 1.1	6.7 ± 1.4	5.7 ± 1.0	77.2 ± 9.1
②9月24日定植区	7.3 ± 0.8	11.2 ± 1.8	37.7 ± 2.5	5.0 ± 0.7	4.8 ± 0.7	10.9 ± 1.2	76.9 ± 3.5
③10月22日定植区	—	0.2 ± 0.1	0.3 ± 0.2	—	0.3 ± 0.1	1.3 ± 0.2	2.1 ± 0.4

z：地下茎を中間節を含む5cmの長さに調整した本数
y：地下茎を先端節を含む5cmの長さに調整した本数
x：調整後の地下茎の太さ（節ではない部分を測定）
w：平均値±標準誤差（n=10）

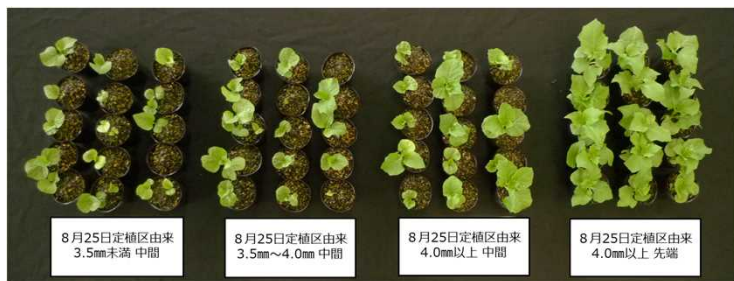
表2 定植25日後における展開葉数（枚）

試験区	中間節 ^z			合計平均	先端節 ^y
	3.5mm未満 ^x	3.5mm以上 4.0mm未満	4.0mm以上		
①8月25日定植区由来	2.2 ± 0.2*	2.3 ± 0.3	2.7 ± 0.3	2.4 ± 0.2	4.5 ± 0.1 a ^v
②9月24日定植区由来	2.4 ± 0.2	3.0 ± 0.2	3.2 ± 0.1	2.9 ± 0.1	4.5 ± 0.1 a
③10月22日定植区由来	—	—	—	—	4.5 ± 0.1 a

有意差^u n. s. n. s. n. s. * —
z：中間節由来の地下茎
y：先端節を含む地下茎
x：調整後の地下茎の太さ（節ではない部分を測定）
w：平均値±標準誤差（n=15）
v：Tukeyの多重検定により同文字間は5%水準で有意差なし
u：t検定により5%水準で有意差あり、n. s.は有意差なし

成果の活用方法(又は期待される効果)

- ホオズキ生産者が高品質化に向けた優良地下茎を確保する際の基準として活用できます。



8月25日定植由来地下茎の生育



9月24日定植由来地下茎の生育

- 普及対象地域・戸数 東臼杵南部、東臼杵北部、西臼杵 15戸

留意点

- 総合農業試験場（宮崎市）での試験結果です。地域の気象条件に応じた活用の検討が必要です。